

この本の
好きなんだね

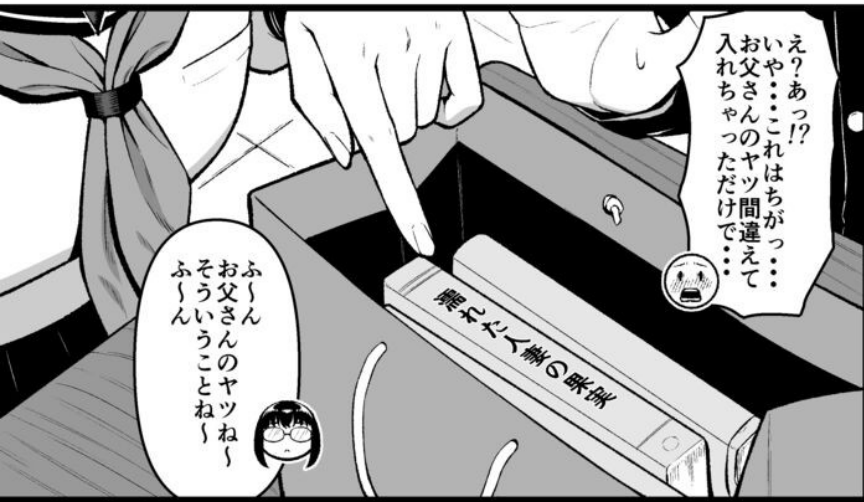
ん？
アレってどの本？



はいっこれ
どの小説も
面白かったよ
ありがとう

もう読み
終わったの！
早いね！

うん…まあ
アレはちょっと
びっくりしたけど…



え？あっ！
いや…これはちがっ…
お父さんのヤツ間違えて
入れちゃっただけで…

お父さん
のヤツね！
ふうん
そうい
うこと
ね！



まあ間違えは
誰にでもあるからね

そうそう
そうなんだよ

そういえば
私の家にある
本見せてあげるって話
今日大丈夫だよ

あっうんうん！
今日予定無いから
行けるよ
ハハッ楽しみだなっ！



まっ……まっ……
こんなこと……
ダメ……だ……
くっ……

え？でも
こういうの
好きなんでしょ？

私の部屋に入ったら
期待しちゃって
おち○ちん大きく
してたじゃん



あの小説
お父さんのじゃないよね？
正直になつたら？

「エッチな小説読んでます。
エッチなこと
大好きです。」って
言っちゃえば楽になるよ

あれは……うっ
僕のじゃ……



いつも小説読んで
知的な感じ出して
「エッチなことに興味
ありません」みたいな
顔しちゃって



かたくなに
否定するんだあ……

でも入ってる
ところが見える
この体勢が
好きなんでしょ？

小説そのページだけ
ヨレヨレだったよ

ちがっ……
うっ……

オナニーしながら
その文章ばかり
読んでるから
ヨレヨレに
なっちゃうんじゃない？

いやっあッ……もう……
出ちゃっ……う……

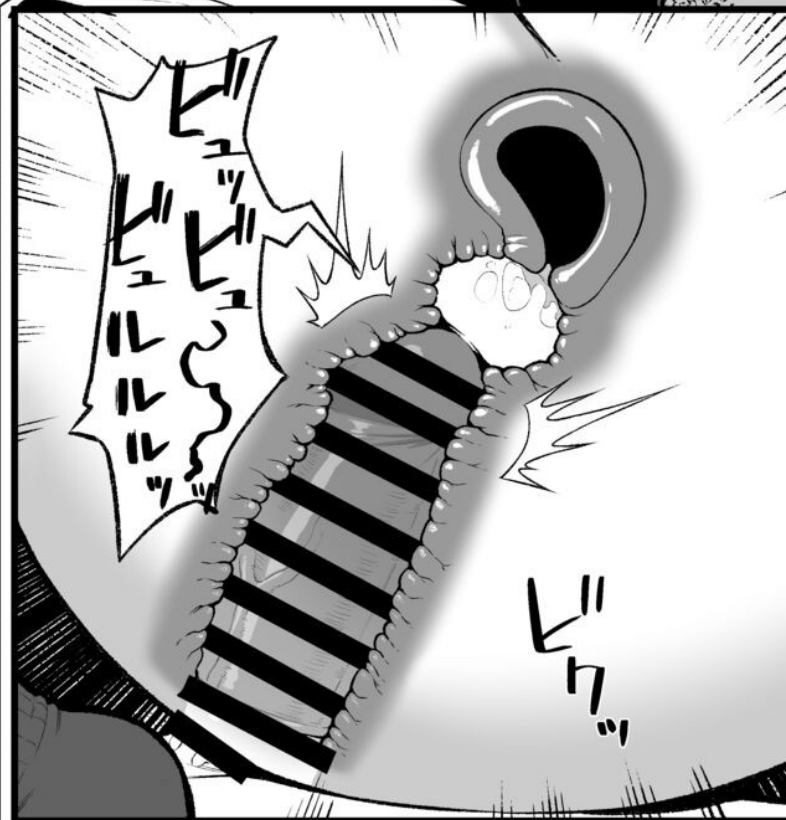


ああ、やっぱり
この体勢が
好きだったんだね

小説を読みながらの
オナニーと
実際にやってみて
どっちが好きだった？

こ……こっちの
ほうが好きです

自分に正直になれた
ありがとうございます……



ビュッ
ビュッ
ビュッ
ブルルル
ブルルル

ビュッ

